



議会だより

News from the Assembly

2011

平成23年

4月25日発行

No.120

昭和56年8月1日
初版発行

○発行…太良町議会広報編集委員会

○〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954-67-2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



多良岳オレンジ海道開通式

平成23年度 一般会計 予算総額 50億9千200万円

議会会議録がインターネットで見られます。

◎太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

3月定例議会

会期 3月7日～18日 12日間

**平成23年度の
主な事業**

太良町営火葬場解体事業 3484万円
大浦小学校管理・特別教室棟改築事業 3億1427万7千円

平成23年度当初予算

(単位：千円)

会計名	当初予算
一般会計	5,092,000
山林特別会計	64,000
後期高齢者医療特別会計	104,000
国民健康保険特別会計	1,838,000
漁業集落排水特別会計	45,600
簡易水道特別会計	74,000
水道事業会計	103,600
町立太良病院事業会計	1,123,474
総計	8,444,674

平成22年度

補正後予算総額 56億5千6百71万9千円

**平成22年度の
主な補正**

きめ細かな臨時交付金(14事業) 1億1020万円
住民生活に光をそそぐ交付金(9事業) 1404万千円
減債基金積立 2097万7千円
国民健康保険特別会計 1億9500万円
後期高齢者医療特別会計 1億619万9千円

区分	種別	単位	使用料	
			町内居住者	町外居住者
火葬炉	大人	1体	10,000円	75,000円
	小人(小学生以下)	1体	7,000円	50,000円
	死産児	1体	5,000円	38,000円
	改葬	1体	5,000円	38,000円
	身体の一部	1体	5,000円	38,000円
	胞衣及び産褥物等	1体	5,000円	38,000円
待合室		1室	無料	5,000円
霊安室		1棺 (24時間につき)	無料	10,000円
動物火葬炉	10キログラム未満	1体	20,000円	38,000円
	10キログラム以上 30キログラム未満	1体	30,000円	50,000円
	30キログラム未満	1体	40,000円	75,000円
	30キログラム以上	1体	40,000円	75,000円

新火葬場の使用開始に伴う使用料の改定

太良町火葬場の設置及び管理の一部改正

評価委員会を設置する必要があるため。

主なものは、観光案内所整備事業など、きめ細かな

太良町特別職で非常勤の報酬及び費用弁償の一部改正

平成二十二年度太良町一般会計補正予算(第六号)

後期高齢者医療保険料の変更による百五十七万七千円の増額で合計は、一億六百十九万九千円。

平成二十二年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第三号)

- ・立木売却収入千二百五十四万八千円の減額。
- ・経営費委託料六百七十五万円の減額。
- ・造林事業費委託料四百五十二万二千円の減額。

平成二十二年度太良町山林特別会計補正予算(第三号)

臨時交付金一億千二百万円、小中学校施設整備事業などに、住民生活に光をそそぐ交付金千四百四万四千円、減債基金積立金二千九十七万七千円など。補正後の総額は歳入歳出それぞれ五十六億五千六百七十一万九千円。

収入の営業収益百万円の増額と、支出の営業費用二百万千円営業外費用十一万二千円の減額は、決算見込み。

平成二十二年度太良町水道事業会計補正予算(第四号)

総務費十九万千円と管理費二百九十八万千円の減額及び消費税十八万五千円の増額は、決算見込み。

平成二十二年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第四号)

療養給付費負担金等の変更と国庫負担金等の歳入減を補うため一般会計繰入金一億九千五百万円の増額で総額は、十八億八百六十六万五千円。

平成二十二年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第四号)

入院収益一億千三百四十万五千円と医業費用給与費九千三百四十二万九千円、材料費千五百七十四万七千円の減額は精算見込み。特別利益四百二十八万九千円と資本的収入百五十六万二千円の増額は医師住宅跡地の売却による。

- ・畜産経営
 - ・海苔養殖
 - ・家畜伝染病対策
- 融資限度額を八千万円。

農林漁業振興資金の融資額について

農林漁業振興資金の対象事業の指定。園芸作物経営

平成二十二年度町立太良病院事業会計補正予算(第三号)

前任者の任期満了に伴い、次の者を任命。(任期は平成二十三年三月十九日から四年間)

太良町教育委員会委員の任命について

新宮義晃氏
太良町大字系岐一〇一五番地
井手カツ子氏
太良町大字大浦丁一三八四番地二
中島末博氏

任期満了に伴い、次の者を選任。(任期は平成二十三年三月二十五日から三年間)

太良町固定資産評価審査委員会委員の選任について

浜崎敏彦氏
太良町大字戊四〇四一三

一般質問

広域漁港の完成は



木下 繁義 議員

答▼来たる八月完了予定。



2号防波堤 8月完了予定

議員 広域漁港建設状況を問う。

町長 平成十三年度から平成二十二年まで総事業費十九億円、竹崎、道越漁港防波堤の新設であり、現在施工中の2号防波堤の総事業の終了予定はノリ時期の関係で八月末の完了予定。

議員 今後の浮揚策として採る漁業から育てる漁業の漁場造成を問う。

町長 県によるタイラギ漁場にモガイ殻散布や海底耕運の支援が行われてきたが、更に魚類の増殖効果として魚礁を竹崎沖に設置して、安定した生産に向け漁場の整備を図る。

議員 事業まで行っていく。

議員 今後の浮揚策として採る漁業から育てる漁業の漁場造成を問う。

議員 平成十九年度から平成二十二年

度までの四カ年ガザミ蓄養試験が終わりその結果は。町長 今年一月大浦漁協で県、町、関係者の食味試験が行われ、商品として通用すると高い評価を得て

いる。議員 平成二十三年度からの、新たなガザミ蓄養の考えを問う。

町長 平成十九年度から平成二十二年までの蓄養に関する技術やデータを元に、施設の管理方法や構造等について漁協と協議を行い、安心して安全な商品化に向けた生産を目指す計画である。

農林水産課長 場所は道越環境広場北側の地先百メートル沖合い、面積は千平方メートル、ガザミ三千kgを投入、電柱を立てて囲網をして布団カゴを設置、海底には砂を三十センチ投入予定。議員 アサリ等タイラギ養殖の考えは。町長 県・水産振興センターの水産資源回復技術確立事業の試験結果とタイラギ等、適正生息環境調査の結果を参考に関係機関と協議知恵を出し合い推進する。

議員 干しノリ等加工販売促進を問う。

町長 平成二十一年度農村活性化支援交付金を活用し地域の特産品として平成二十二年から加工販売、人件費を緊急雇用創出基金を活用し実施している。

農林水産課長 二十二年度はバラ干の原藻四百kg、板ノリ原藻五百kgを冷蔵保存、計画的に生産販売されている。町立病院の健全経営を問う 議員 公営企業法の一部適用から全部適用に変更しその内容は。病院長 管理者が町長から事業管理者に変わり改革の必要性がスタッフに浸透、事務長からの幹部会で毎月業績報告、部署長から状況報告、人事権が管理者に移り人事異動や職員採用が可能で、また収益を得るため人員配置

が出来る。給与改定は平成二十三年度中を予定している。

議員 平成二十年度外来患者五万九千五百人、平成二十一年度五万六千六百十三人、七千四百人減の原因は。病院長 小児科と内科医師二名の減が原因と考える。議員 医師確保は。病院長 全国的医師不足であるが、今年度は人材会社の紹介で二名の非常勤医師の採用、また四月から常勤の内科医師一名が確定している。

今後とも医師、看護師の確保に力を入れて行く。議員 未収金対策は。病院事務長 今年度は十二月を集中的に十八件ほど出向き徴収に伺ったが、対応出来たのは半分ぐらいで、毎月電話の督促や督促状の配布を行っており、患者さんの支払う義務は絶対あるので、モラルの問題とも考えている。



『太良町に思う』

山口 光章 議員

答▼研究していきたい。

今後の町づくり対策について

議員 地方分権の時代に入り権限移譲という言葉が使われている。若者定住における前向きな雇用問題を今後どのように考えて行くのか。

町長 町内で事業を起こす企業を誘引し町内の企業、団体に一人でも多くの雇用を創出していくことと、補助支援などによる起業支援制度、町内の企業に対して町民を新たに雇用した場合の雇用助成制度なども研究していきたいと考えている。

若年層流出要因は、住む場としての魅力アップ、子育て支援、教育施設の充実が必要と考えている。充実した子育て支援、質の高い教育環境が居住地選択に際しての大きな動機づけになると思う。

議員 一次産業と観光を結びつける具体的な策を問う。

町長 地域の一次産品を生かした特産品の開発加工販売拠点施設の建設に際しての用地取得等を計画している。

生産から販売までの六次産業化により地域全体の経済価値が高められ、その中で新たな雇用が生まれ、地域が経済的に潤うことを期待している。

特産品開発等の地域づくりにチャレンジする団体等には、積極的な支援をしていきたい。

議員 町長は、定住者対策を執行されたが、太良町に若者をとどめていくだけの施策だったのか、それとも他の市町村からの定住を求め人口増を考えていくのか。

企画商工課長 子育て環境の充実と子育て中の若者

世代を中心とした支援策を行って定住策に努めていきたい。

議員 町民の雇用において、県の施設を持つてくる力はないのか。

町長 太良町は自然環境に恵まれた所でもあるし、研修施設等々の誘致を打診してみたいと思っ

議員 熊本県の南阿蘇村に視察に行った時、役場の中に結婚相談所があった。どこの地域でも若者定住策を考えていると思うが提案として、雇用の相談窓口を設置すればという個人的な考えである。

給食センターの新築構想について

議員 昭和四十二年建設である現給食センターも築四十三年を経過し老朽化が進んでいる。

町長 全く不透明な点もあるから、新設の構想を問う。安心安全な給食の提

供ができる給食センターの建築を今後計画しているが、今の状況では平成二十五年から二十七年のうちで過疎債を使うという事で考えている。

環太平洋経済連携協定について

議員 今問題になっている環太平洋経済連携協定、政府は、とにかく六月をめどにTTP参加の結論を出すとしているが太良町に対しての町長又、関係課の考えは。

町長 太良町議会からもTTP交渉参加への慎重な対応を求める意見書を政府、国会に提出している。

町としてもTTP参加への慎重

な対応を求めるとともに、国の動向を注意深く見守っていききたいと考えている。

議員 我が国は農業国であり、そしてまた農業県であり、太良町もそれこそ農業の振興に力を注いでいる。

このような問題は直接農業、畜産、水産業と一次産業にかかわってくる。その点を十分踏まえて一生懸命この問題には取り組んでもらいたい。



給食センター

行財政を問う



牟田 則雄 議員

議員 所得の官民格差が拡大しているといわれている中、町の職員給与、議員特別職等の報酬について高いと思うか安いと思うか。

り入れをする事になるが、今度国保税の増額案が示されたがモデルのとおり増額した場合、増額分の総額はいくらになるか。

町長 職員の平均給与月額、特別職の報酬額は県内で最低の域にあり、議員報酬は平均の域にある。

健康増進課長 約四千万円から五千万円ぐらいの歳入増になると思う。

総務課長 所得については、データが無いので答えられない。

議員 今後一億五千万円近くの財源が不足すると思うが、どのように考えているか。

議員 資料等を確認し次の機会に質問する。

健康増進課長 繰り入れに

国民健康保険税を問う

議員 今年度一般会計より一億九千五百万円の繰

関しては、運営協議会、また議会とも協議を重ねながら決めて行く考えである。

町長の施政方針を問う



見陣 泰幸 議員

答 町民と協働の町づくりをしていく。

議員 太良町長の二期目に向けての、施政方針を問う。

町長 一つ目に、農林漁業の基盤整備については、

本当にやる気のある人や団体に支援を集中させ、安定した経営を目指し後継者の育成を図りたい。

二つ目に、一次産業と一体化した商工業の振興を進め、地産地消を推進するとともに産業の発展と雇用の創出に力を入れたい。

三つ目に、高齢者と子育て支援の充実に取り組んできたが、再度、町民の意見に耳を傾けながら取り組んでいく。

四つ目に、教育環境は大きく変化しており、ICTなど先進的な技術を取り入れた教育の充実を図り、自然に恵まれた、人間性豊かな教育の整備

をしていきたい。

議員 スローガンとして、町民と協働のまちづくりとあるが考えを聞きたい。

町長 商、工、農など異業種の皆さんから逆に発想して、やりたい事業の計画書を出してもらい、それによって町が支援をしていき町民と協働でまちづくりをしていきたい。

議員 町民会議についてどう考えているのか。

町長 行政主導も考えて、説明会を開催しながら、極力出向いて宣伝も兼ねてやっていきたい。

議員 商、工、農だけではなく、主婦の方々あるいは、サラリーマンも対象に考えてはどうか。

町長 町民会議がある程度軌道に乗れば、主婦、サラリーマンの皆さんの参加も考えたい。

議員 課の統合をどう考えているのか。

町長 プロジェクトチームを立ち上げ事業の見直し、機構改革等意見の集約をし、前向きに考えていきたい。

議員 庁舎内の縦のつながりは十分できていると思うが、横のつながりも密にできないか。
町長 横のつながりも徹底していきたい。

町長の方策

- 農林漁業の基盤整備
- 1次産業と一体化した商工観光業の振興
- 高齢者と子育て支援の充実
- 教育施設の整備



高齢者と子育て支援の充実を図れ

平古場公子 議員

答▼ 保育料の保護者負担金を軽減する

議員 町長の選挙公約として掲げられた高齢者と、子育て支援の充実についての内容を問う。

議員 町長の選挙公約として掲げられた高齢者と、子育て支援の充実についての内容を問う。

子宮頸がん等ワクチン費用助成について問う

議員 本年一月から費用全額助成で実施されているが、その内容と状況について

健康増進課長

子宮頸がんのワクチンのワクチンは一回一万五千元、三回接種が必要で四万五千元、ヒブと肺炎球菌が年齢によって接種

議員

子宮頸がんのワクチン接種を受けると、不妊症になるという事が言われているが。

議員

日本人の三人に一人が、がんで亡くなるといわれている中で唯一ワクチンで防げるのが子宮頸がんワクチンである。女性一人一人が認識し、予防接種を受けてもらいたいと思う。

町長 日本において少子高齢化の到来が叫ばれて久しいが、太良町も既に少子、高齢化が到来している。現在三〇%を超え県内でも一位、二位を争う状況となっている。

議員 今後の支援策としてどのような考えか。

町長 介護保険の要介護四と五の方々を、自宅で介護されている家庭に対して現在月一万円、年額十二万円の慰労金を支給しているが、その額をもう少し増額したいと考えている。

町民福祉課長

太良町保育の実施に関する条例施行規則の中の徴収金額基準表に基づいて全体的に、下げていくと考えている。

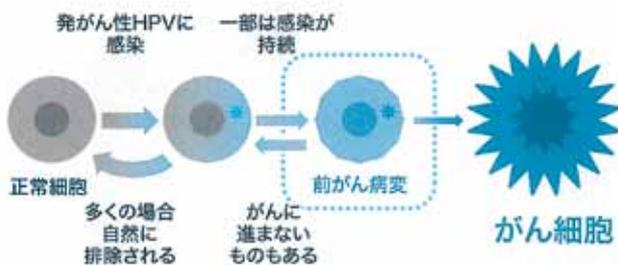
議員 助成がない場合の金額を問う。

町長 子宮頸がんは中学一年生から高校一年生を対象に、ヒブワクチンと、小児用肺炎球菌は、生後二ヶ月から、四才までを対象に全額を助成するものである。三月一日現在の状況では子宮頸がんが九十六名、ヒブワクチンが七十一名、肺炎球菌が七〇名、合計二百三十七名で、三割程度の接種状況となっている。

子宮けいがんの罹患率と死亡率(日本人女性)



子宮けいがんになるまで



町長の施政方針

地方分権地域主権の流れは加速し自治体の自主・自立が強く求められる中、自己責任も大きく自治体の企画、管理、財政力等総合的な経営が町民の暮らしに直結する。

日々刻々と変化する国の状況に対し、スピード感を持つて的確に対処出来るよう町政運営に取り組み。

更に平成22年度から5年間で第5次行財政改革期間大綱を策定。

行政サービス、年々事業の効率化を図り健全な財政運営に努める。

23年度は一般行政経費の効率化、緊急雇用対策やふる里雇用対策による雇用確保を図る。

昨年4月過疎地域指定を受け70%交付税措置で過疎債を有効活用し地域活性化に努める。

6つの基本施策

太良町に住んで良かった、町民と協働の町づくりを基本として

- 賑わいたら 活気ある産業のまち
- 安心たら 健やかな福祉のまち
- 潤いたら 快適な生活環境のまち
- 広がりたら 活発交流のまち
- きらめきたら 学び楽しむ文化のまち
- 創造たら 共に創るまち

太良町の自主財源は厳しく、新規事業や事業継続には慎重に限られた財源を有効活用し、町民の知恵を得、町政運営に取り組む。

町長の方策

- 農林漁業の基盤整備
- 1次産業と一体化した商工観光業の振興
- 高齢者と子育て支援の充実
- 教育施設の整備

総務常任委員会委員長報告

平成十二年、地方分権一括法の施行以来地方議会の役割と責任は、これまでとは比較にならないほど重くなった。

は、次の三点の必須条件が盛り込まれていると思われる。

平成二十二年十一月二十四日嬉野市議会を視察研修をした所、嬉野市議会は佐賀市議会に次いで県内二例目の議会基本条例が制定され、平成二十一年七月一日より、基本条例と政治倫理条例が施行された事によって議員の自己研さんや政策討論会などで議会の資質を高め、住民奉仕の行政推進がより期待されている。

一、議会が機関として一体となり、住民生活の場に向いて意見交換会をする議会報告会。

平成二十三年二月十四日十六日、北海道栗山町へ視察研修をした。

二、請願、陳情は、住民からの政策提言であり、議会の意見を陳述を保障する。

栗山町議会は、分権先進地として、積極的に改革と活性化へ向けて、平成十八年五月に全国初の基本条例を制定した。

三、議会は討論の場であり、議員相互の自由討議を通じて意見を集約する。

以上三点が必須条件と思われる。議会は町民の代表機関

三、議会は討論の場であり、議員相互の自由討議を通じて意見を集約する。

栗山町議会は、分権先進地として、積極的に改革と活性化へ向けて、平成十八年五月に全国初の基本条例を制定した。

以上三点が必須条件と思われる。議会は町民の代表機関



栗山町役場にて

関であり、議員一人一人がその意識に立ち、真に二元代表制を担う議会人として資質の向上と条例に定める議会運営のルールを最高規範として遵守し、実践することこそが、町民に信頼され、存在感ある議会民主主義が築かれることを思い、早急な取り組みの必要性を痛感した視察研修であった。

経済建設常任委員会委員長報告

1月26日、27日の両日、

熊本県南阿蘇村と、福岡県三潞郡大木町の行政視察研修を行った。

南阿蘇村では、「阿蘇くじゅう国立公園」、「日本名水百選」に指定されている白川水郷などに象徴される、豊かな自然環境に恵まれた村であった。

平成17年2月13日に、阿蘇郡白川村、久木野村、長陽村の3村が合併し、新生「南阿蘇村」となっている全国でも数少ない合併しても村として誕生した珍しい村であった。

●合併の志として「安心して、楽しく、豊かに暮らせるむら」。

●キャッチフレーズは「世界一のカルデラの村南阿蘇」。

●「生まれてよかった、住んで良かった、来てよかった」と実感。

●特産品は、米、そば、赤牛、水である。

●南阿蘇の豊かな自然環境を生かしたエコツーリズム

●修学旅行生の受け入れ、農家民宿、農作業の体験など。

●地産地消協議会というものがあって、米を売っていく手段として、夏場は水田のオーナー制、冬場は水質保全米として企業と契約され、観光のメインは、大型観光施設があり、年間300万人が訪れるということであった。

●合併により、3村分庁方式は、大変不便であると感じた。

●学生の修学旅行の受け入れなど、努力されていると感じた。

●村にある資源を生かした観光がされていた。(特に水郷など)。

●空き家を利用した、長期滞在型のグリーンツーリズム。

以上が南阿蘇村における視察研修。

次に、翌27日福岡県三潞郡大木町浄化槽設置整備事業を視察。

大木町は、福岡県南部筑後平野の中央部、水郷柳川に隣接した農業の町であり、合併処理浄化槽設備状況については、平成22年3月31日現在で61.92パーセントという状況であり、

もクリークの保全が最優先に合併処理浄化槽の普及を図っていく考えであり、太良町も同様、主幹産業にしろ環境問題にしろ、色々な

その町その町の個性を活かし、町をよくするための研究、努力が十分に見えた町づくりを推進しており、意義深い研修であった。

太良町の平成21年度の26.6パーセントに比べても、大きな数字が表れている、佐賀県の普及率が71.3パーセント、大木町の合併浄化槽整備推進経過をみると、平成2年度から個人設置型浄化槽設置整備事業に着手、平成22年度からは補助金20万円の上乗せによる設置を推進し、汲み取り便槽及び単独処理浄化槽からの転換に限り、22年度から24年度までの3年間限定の補助ということ



大木町役場にて

で、3年間で300基の整備を図り、設置率70パーセントを目指す方針で、今年度は95基にとどまる予定であった。

住民アンケートで

町内視察

町内の道路改良の陳情箇所、野上峠線、広江・中畑線、

廣江線、野崎・道越線、亀ノ浦・道越線、津ノ浦・牛

尾呂線、平野・今里線、平野・大町線、田古里・平野

線、南木庭線、波瀬ノ浦・三

里線、喰場日当線、片峰線、尾辺田・稲荷線、伊福

中央線、計15箇所を視察。

多くの陳情がある中で、緊急性のある場所から優先的に執行されている。

平成23年2月2日に町営火葬場の進捗状況を視察した。

近代的な火葬場になることは十分確認出来た。

議会の主な活動 1月～3月

2月					1月																	
14 16	10	9	6	4	3	2	31	28	27	26 28	25	23	19	17	16	13	12	9	4			
・総務常任委員会視察研修	・総務常任委員会事前勉強会	・議会だより編集委員会	・後期高齢者医療広域連合議案勉強会	・佐賀県女性消防団員活性化セミナー	・火葬場建設検討委員会	・議会だより編集委員会	・経済建設常任委員会現地視察	・佐賀県町村議会議長会・局長合同会議	・太良町青少年育成町民大会	・香川県三木町議会より視察	・新春経済講演会	・建設経済常任委員会視察	・議会だより編集委員会	・町内駅伝大会	・有明海沿岸道路・南西自動車道路建設促進期成会要望活動	・鹿島青年会議所新年会	・県内一周駅伝大会結団式	・有明海沿岸道路・南西自動車道路建設促進期成会要望活動	・同和問題地区別研修講座	・成人式		
3月					2月																	
30	29	28	26	25	22	18	15 17	11	9	7	5	2	1	28	25	24	23	22	20	18		
・山林運営委員会	・北多良土地改良区総会	・大浦土地改良区総代会	・杵藤広域圏組合議案定例会	・大浦地域婦人会総会	・杵藤地区議長会設立総会	・町営火葬場落成式	・小学校卒業式	・議案審議	・中学校卒業式	・議会一般質問	・3月定例議会招集	・多良岳オレンジ海道開通式	・議員全員協議会	・議会運営委員会	・太良高校卒業式	・総務常任委員会事後研修	・西部広域環境組合定例会	・果協みかん生産者大会	・杵藤広域圏組合議案定例会	・鹿島藤津衛生施設組合議会	・県内一周駅伝大会反省会	・佐賀県町村議会議長会定期総会

平成22年度後期（10月～3月）
議長交際費の支出状況を公表します。

区分	支出日	支出金額(円)	支出の相手方・行事名
会費	10月 3日	10,000	木下慶猛氏叙勲祝賀会
	11月16日	5,000	国会議員との懇談会
	1月17日	5,000	鹿島青年会議所新年会
	2月20日	4,000	県内一周駅伝大会嬉野・太良チーム反省会
	3月25日	10,000	杵藤地区議長会設立総会
慶弔費	10月 7日	10,000	衆議院議員今村雅弘氏実母逝去に伴う香典
贈呈品	10月19日	5,000	肥前寒蘭太良愛好会展示会議長賞
合計	7件	49,000	



太良町消防団入退団式で謝辞を述べる石口輝昭さん

編集室より

去る三月十一日東日本大震災で亡くなられた方のご冥福を心からお祈りいたします。

また、被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

桜の花も満開で、入学式、入社式など何かと明るい話題の多い季節ですが、今年はいろいろな行事が自粛され、町民の皆様にも大変ご協力を頂きました事に感謝いたします。間もなく梅雨に入りますが、万全を期して災害が起きない事を願っています。

編集委員会

- 委員長 木下 繁義
- 副委員長 見陣 泰幸
- 委員 山田 則雄
- 山口 則雄
- 所賀 廣
- 平古場 公子